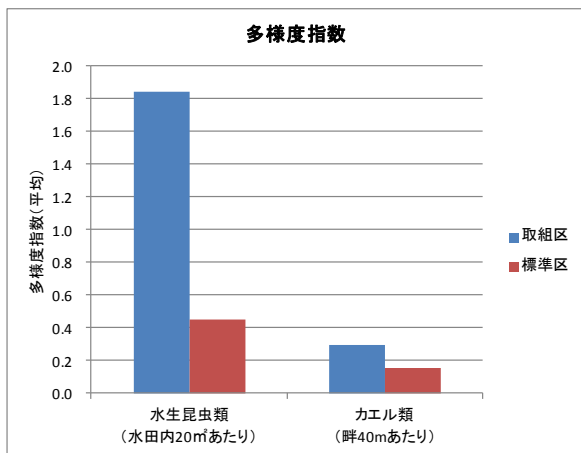
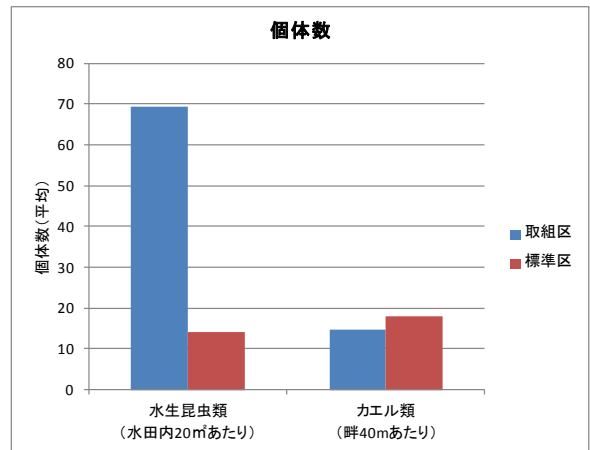
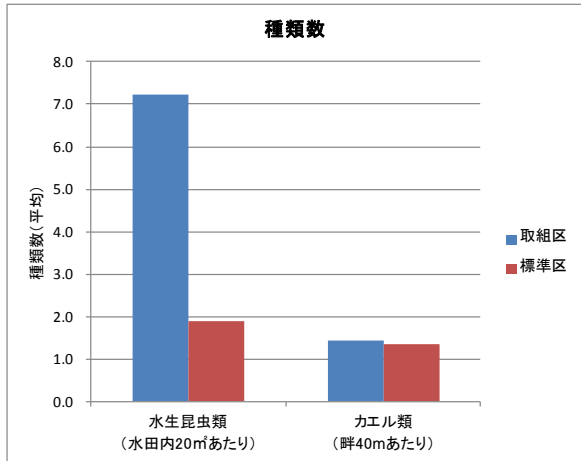


有機農業

取組区と標準区の比較

調査地点数: 9地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m ² あたり)	7.2	1.9	69.3	14.2	1.84	0.45
カエル類(畔40mあたり)	1.4	1.3	14.8	17.9	0.30	0.15

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



有機農業の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類の種類数と個体数ともに取組区の方が多くなる傾向が認められた。

多様度指数は、水生昆虫類・カエル類ともに、取組区の方が高くなる結果となった。



取組区の水田 (大野市)



多く確認されたカエル類 (アマガエル)